

## X-Tech ビジネス大全 既存産業×デジタルが最適化社会を切り拓く

著者 岩本 隆 加賀裕也

定価 1,800 円+税 四六判 並製 本文1色 224 ページ

発売日 2020 年 4 月 17 日

ISBN 978-4-434-27373-5



### ●日本の全産業復活の切り札「X-Tech」を完全解説

現在、世界は「第四次産業革命」の真ただ中にあります。しかし、そのことに気がついている人はあまり多くないかもしれません。第四次産業革命では、AI や IoT などのテクノロジーが身近な存在になり、既存のビジネスを変革しようと考えたときに、実はそのハードルは予想以上に低かったりします。

現在進行中の第四次産業革命により新たなビジネスが次々に生まれており、それらは「X-Tech」と呼ばれています。例えば、FinTech(金融)、AdTech(広告)、MarTech(マーケティング)、EdTech(教育)、AgriTech(農業)、MediTech(医療)、HRTech(人材)、RETech(不動産)など、さまざまな産業や業種で「〇〇×Tech」という造語が生まれ、今後の産業界に劇的な変化をもたらす起爆剤として大きな注目を集めています。

本書では、さまざまな業界や産業で登場している X-Tech について網羅し、さらに「生活が変わる」「会社が変わる」「人間が変わる」の3つの分類から、X-Tech ビジネスの可能性と、今後の日本や世界に起こりうる未来を示唆しています。日々進化する X-Tech の最新情報だけでなく、世界が直面している社会的課題の解決に X-Tech が大いに役立つことも紹介しています。本書をご覧になり、ビジネスを成長・変化させるヒントになれば幸甚です。

## ●本書で取り上げる X-Tech ビジネス

・ X-Tech で「生活」が変わる

FinTech——革命的な金融サービスが次々に生み出される

WaterTech——21 世紀は水をめぐる争いの世紀になる

FoodTech——人工肉(代替肉)の研究開発が進んでいる

AgriTech——「おいしさの見える化」と農業の効率化が進む

EdTech——「学ぶ側の能力をいかに伸ばすか」が重要になる

・ X-Tech で「会社」が変わる

AdTech——最適なターゲットに、最適なタイミングでの広告が可能になる

CareTech——介護士の不足問題を解決する切り札になるか

LogiTech——荷主はモノがどこにあるのかを気にしなくてもよくなる!?

HRTech——人事課題の解決で巨大ビジネスに成長する可能性・大

・ X-Tech で「人間」が変わる

AgingTech——「健康で長生き」を実現するテクノロジーが次々に生まれている

BrainTech——「脳の見える化」で、脳をコントロールすることを目指す

HealthTech——「予防科学」が進んでいる日本にもビジネスチャンスあり

SleepTech——睡眠の質の改善だけでなく、生活習慣の改善提案も行う

SporTech——バイタルデータの蓄積で、最高のパフォーマンスが可能に

TransTech——人間の潜在能力のフル活用を目指す

## 岩本 隆(いわもと・たかし)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 特任教授

東京大学工学部金属工学科卒業。カリフォルニア大学ロサンゼルス校工学・応用科学研究科材料学・材料工学専攻 Ph.D.。ノキア・ジャパン(株)などの外資系企業、(株)ドリームインキュベータ(DI)を経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科(KBS)特任教授に就任。外資系グローバル企業での最先端技術の研究開発や、その組織マネジメントの経験を活かし、DIでは「技術」「戦略」「政策」の融合による産業プロデュースなど、業界における新領域を開拓。KBSでは、「産業プロデュース論」を専門領域として、新産業創出に関わる研究を実施。既存産業・事業を変革、新規創出する X-Tech に着目している。

## 加賀裕也(かが・ゆうや)

株式会社キューブアンドカンパニー 常務取締役

名古屋大学工学部航空宇宙工学コース卒業、フランス国立ポンゼシヨセ高等大学 MBA。株式会社リクルート、株式会社ショーケースでスタートアップ関連のインターンシップを経

験。ベイン・アンド・カンパニー・ジャパンを経て株式会社キューブアンドカンパニーを創業。現在、大手企業や中堅企業に対して、M&A やスタートアップの連携も用いて、X-Tech の新規事業の立ち上げや、デジタルトランスフォーメーションを支援。また、山形大学の技術シーズを事業化する文部科学省や内閣府のプロジェクトにおいて、ビジネスプロデューサーとして、マーケティング・知財・事業計画策定などを支援。政策レポートや学術論文を岩本特任教授と共同執筆している。

-----

書籍に関するお問い合わせ、公演等のご依頼は、下記よりお問い合わせください。

電話番号：03-5641-3673

メールアドレス：[cube-info@cube-company.com](mailto:cube-info@cube-company.com)

担当：株式会社キューブアンドカンパニー 経営管理部 広報担当